

9月21日は「認知症の日」

9月は認知症月間です

認知症の日/認知症月間とは？

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。

それに伴い、日本では9月21日を「認知症の日」とし、9月を「認知症月間」と定めて認知症の普及啓発を行っています。

豊山町では、認知症の人やご家族の視点を大切にして、認知症になっても、ならなくても誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めています。認知症を知り、応援するために町が行う取り組みをご紹介します。

認知症のひとやその家族の「応援者」になろう

認知症サポーター養成講座を受けて応援しよう！

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る応援者、それが認知症サポーターです。認知症はだれにでもなる可能性がある病気です。いつ自分や家族が、あるいは友人や知り合いが認知症になるかわかりません。他人事として無関心でいるのではなく、「自分の問題である」という認識を持つことが大切です。

豊山町では、認知症サポーターを養成する講座を実施しています。開催に関する情報は町の広報や町公式LINEで随時発信しています。申込みは、地域包括支援センターあおぞらで受付けています。

認知症サポーター養成講座

今年度の開催予定	
令和5年	10/4(水)
	12/4(月)
令和6年	2/5(月)

ロバ隊長

(認知症サポーターキャラバンマスコットキャラクター)

